

かいぼり瓦版

2号

2020年6月

発行
上尾市役所みどり公園課
https://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s355000/
編集
認定NPO法人生態工房
https://www.eco-works.gr.jp

上尾丸山公園大池では、水質改善とさまざまな在来種が息する自然を再生するため、開園以来初めてのかいぼりが行われた。

2019年12月21日、22日の2日間にわたり、大池を排水して魚を捕る「上尾丸山公園大かいぼり祭」が行われた。公募による市民ボランティア「おさかな連」「上尾水辺守」、地域団体、市関係者が参加し、大勢の見学者が来場した。市・県議会議員の姿も多く、大池再生への関心の高さがうかがえた。



ついにかいぼり

ここから始まる！大池の再生

島山稔市長のあいさつで開会すると、約270名のボランティアらが水を抜いた池に入って魚捕りを行った。泥に足を取られながら、大きな外来魚が網に入るたびに辺りは笑顔や歓声に包まれた。

大池の魚たち

かいぼりではブルーギル7141匹、ハクレン51匹、コイやソウギョなどのさまざまな外来魚が捕獲された。これらの外来魚は、在来の水生生物や水草を捕食したり、底泥を巻き上げて水を濁らせたりして生態系に被害を及ぼすことから、大池の自然を再生するため

外来種	ハクレン 51匹	ブルーギル 7,141匹 <small>特定外来生物</small>
在来種	モツゴ 17,777匹	オイカワ 162匹
	ヨシノボリ類 637匹	テナガエビ 1,214匹
		チャネルキャットフィッシュ 2匹 <small>特定外来生物</small>
		ミシシッピアカミミガメ 52匹

※実物の約100分の1 ※匹数は事前調査も含む

に、池に戻さずに駆除した。オイカワ、モツゴ、ハゼ類等の在来魚は、かいぼり期間中はアヒル池で保護した。

本当のかいぼり、上尾丸山公園池干し祭も盛況

魚捕りの後は、「上尾丸山公園池干し祭」と銘打って、池底観察会と泥かき連が計5回行われた。池底観察会は、干し上げ中の大池の池底を歩く体験ツアー。かいぼりによる水質改善の仕組みを学び、野生動物の足跡の観察を交えながら、泥底の感触を楽しんだ。計2回、153名が参加した。

泥かき連は、池底の泥を掻いて岸辺に浅場を造るイベントだ。計3回開催し、大人や小中高生など42名が参加した。上尾水辺守や市職員も毎回加わった。以前の大池はこの場所も水深が1m近くあり、池水も濁っていたため、池底から生える水生植物がほとんどなかった。こうした環境を改善する目的で水生植物の生育場所を整備した。水生植物が繁茂すると、魚類やエビ類、トンボのヤゴ、ミジンコなどの生育場となり、それを食べる水生生物や水鳥も集まってくる。泥かき連の奮闘が、大池の生物多様性の回復につながる。こうした主旨に賛同して熱心に参加する市民やリピーターが多かった。

池底の干し上げ

かいぼりで水質がよくなるヒミツは、水を抜いて底泥を直接、空気にさらすこと。空気に触れることで底泥の酸化が促進され、池水の富栄養化の原因となるチッ素やリンが減少する。底泥がよく乾いてヒビが入ると、泥の深くまで空気が入っていく。

上尾丸山公園
かいぼり
写真館



2019年12月21日・22日
上尾丸山公園大かいぼり祭



畠山市長も2日間参加!



午前中は公募した「おさかな連」など、ボランティアが池に入って魚捕り!



大にぎわいの池の生きもの展示コーナー



大池の生きものたちにくぎ付け!



自然紹介の展示ブースや、飲食提供ブース出展に計7団体が協力してくれました。ありがとうございました!

2020年1月~2月
上尾丸山公園池干し祭



池底ひび割れ!これがポイント!

- 上尾西ロータリークラブ
- 上尾ライオンズクラブ
- JAさいたま女性部北部ブロック
- 上尾市観光協会
- NPO 法人荒川の自然を守る会
- 平方河岸の遺産を活かす会
- 井の頭かいぼり隊



ブルーギルなどの外来魚の取り残しがないように、排水しながら魚捕り。上尾水辺守が奮闘しました。

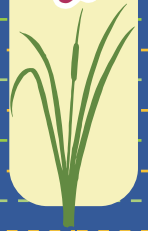


池底には釣り竿や折りたたみイスなどがたくさん...



かいぼり後の公園利用ルール

植物を採取しない



野鳥などの生物にエサをやらない



魚釣りや生物の持ち込み、持ち出しはご遠慮ください



大人気だった「池底観察会」



大池に浅場を作るぞ! 「泥かき連」

完成した浅場と記念写真♪